

01 「初の PC-98」

初めて PC-98 に触れたのは確か中学校の技術という科目の授業だったと記憶している。技術の授業は工作だったりパソコンの実習などをしてきた。

当初は未だ Windows は普及しておらず、学校のパソコンに搭載されていた OS は MS-DOS のバージョン 3 だった。

パソコンを立ち上げるとランチャーが起動して、マウスで項目を選択するとアプリケーションが起動するようになっていたので、コマンドを打たなくてもアプリケーションを起動できた。ランチャーの名前は忘れたが、時計やカレンダーが表示されていた。アプリケーションは一太郎、花子、Lotus1-2-3 などが入っていた。

最初の授業は、キーボードで文字が打てるようになるろうという内容だった。この頃は家にパソコンがある方が珍しい時代だったので、生徒のほとんどがパソコンのキーボードなんか打ったことがない。まずはキーボードに慣れるところから始まる。

先生から一太郎を立ち上げるよう指示された。一太郎が起動するときに表示されるロゴがかっこよくて、クラスじゅうから「カッコイイ」とか「一太郎！」などと悲鳴がわいた。一太郎… どういう意味だとかかなり疑問に感じたのは覚えている。



一太郎が起動したら、「あいうえお」と打てとのこと。ローマ字なので最初は「A」次に「I」と打つのだが、無秩序に並んでいるアルファベットを探すのが大変だった。自分は周りの生徒に比べ、入力はかなり遅かった。「あいうえお」が終わると次は「かきくけこ」とひたすら五十音の文字を打ち続けた。周りの生徒より、遥かに遅れていた。

最後に一太郎を終了させるよう、先生からまた指示された。ESC キーを押して終了を選択、次に強制終了を選択しろとのことだったが、この「強制終了」というのも疑問だった。

授業が終わり実習室から教室に戻る最中、あまり仲良くもない友人から「パソコンもろくに使えないやつは、これからの時代は生きていけないな～」などとバカにされた。このとき将来はパソコンに関係ない仕事をしようと思った。しかし、現在自分は SE の仕事に就いている。このときはまさか SE になるとは思いもしなかったし、今後パソコンにハマるなんてことも予想していなかった。